

熊本のほん

「サクロ・モンテの 起源」

関根浩子著

つくり、絵や彫刻でキリストの物語を表現した。これらを巡ることで信心を深めるとされる。イタリアでは15世紀から16世紀にかけ、エルサレムへの聖地巡礼の代わりとされるようになったという。

イタリア語で「聖なる山」を意味するサクロ・モンテ。キリスト教の宗教施設で、山や丘に礼拝堂などを

イタリア2州のサクロ・モンテ群は、2003年にユネスコの世界遺産に登録された。本書はサクロ・モンテの起源とその後の変遷を明らかにした学術書だ。

著者は崇城大芸術学部美術学科教授で、西洋と日本の美術・文化史を専門とする。



(勉誠出版・4536円)